

2019年「日本語文化研究」学術研究会

東華大学・名古屋大学・上海外国語大学

プログラム

開会式		司会者：趙萍
09:00-09:05	趙 曉臨 東華大学・外語学院・院長	開会挨拶
09:05-09:10	玉岡賀津雄 名古屋大学・人文学研究科・教授	
09:10-09:15	高 潔 上海外国語大学・日本語文化学院・院長	
第Ⅰ部		司会者：王蕾
09:15-09:45	福田真人 (名古屋外国語大学・教授)	手を巡る文化史的考察
09:45-10:15	玉岡賀津雄 (名古屋大学・教授)	日本語おぼんどうに「なる」言語なのか?—計量言語学的アプローチによる検証—
10:15-10:45	高 潔 (上海外国語大学・教授)	森鷗外「寒山拾得」における中国題材の意義
10:45-11:15	杉村 泰 (名古屋大学・教授)	「強風でドア (が開いた/を開けたが・を開けられた)。」の自他受身の選択
11:15-11:35	質疑応答	
11:35-11:55	記念撮影	
12:00-13:00	昼食(お弁当)	
第Ⅱ部		
第一会場座長：福田 真人 教授		陸 晚霞 教授
第二会場座長：玉岡賀津雄 教授		丸尾 誠 教授
＜第一会場＞		
13:00-13:30	陸 晚霞 (上海外国語大学・教授)	中世文学に見る『摩訶止観』の影響——遁世者像の形成を中心に
13:30-14:00	那 希芳 (上海外国語大学・講師)	陸羯南の国際関係論—博愛主義、軍備批判及び対外経済拡張をめぐる
14:00-14:30	勞 軼琛 (東華大学・講師)	「翻訳アフレコ」の実践を通じた会話指導
14:30-15:00	孫 若聖 (東華大学・講師)	転換期の墮落と蘇生—竹内実による遇羅錦批評と情欲論の成立
＜第二会場＞		
13:00-13:30	鷺見幸美 (名古屋大学・准教授)	意味カテゴリーの動態性—多義動詞ヒクを例に—
13:30-14:00	勝川裕子 (名古屋大学・准教授)	視点の移動とヴォイス—日中受身文を中心に—
14:00-14:30	伏 泉 (上海外国語大学・講師)	二十世紀に中国で出版された日本語教材についての回顧
14:30-15:00	王 蕾 (東華大学・准教授)	ETによる中英バイリンガルブランドネームの研究
15:00-15:15	コーヒーブレイク	
＜第一会場＞		
15:15-16:15	須 軍 (上海外国語大学・講師)	ゴジラ映画シリーズにおける政治言説
16:15-16:45	李 凱航 (東華大学・講師)	黄禍論をめぐる明治日本と清末中国—近代東アジアの人種競争論—
16:45-17:15	励 立蓉 (上海外国語大学・博士後期)	生きるための文学—らい病文学北条民雄の小説とその周辺
＜第二会場＞		
15:15-16:15	丸尾 誠 (名古屋大学・教授)	中国語の動補フレーズ“V成”の表す有界性
16:15-16:45	張 婧禕 (名古屋大学・助教)	中国人日本語学習者による流行語の理解—実証的手法による検討—
16:45-17:15	陳 韻 (東華大学・講師)	上代散文資料における漢文助辞「莫」「勿」「無」—『古事記』を中心に—
17:15-17:45	佐久間淳一 (名古屋大学・教授)	言語の類型と言語研究
閉会式		司会者：勞軼琛
17:45-18:00	分会場座長による総括	
18:00-18:05	佐久間淳一 名古屋大学・人文学研究科・研究科長	閉会挨拶
18:05-18:10	趙 萍 東華大学・外語学院・院長補佐 日本語学科主任	
18:30-20:00	親睦会	

*会場案内：延安西路1888号東華大学延安路キャンパス中心大樓2F第一会議室、第二会議室